

科目区分	専門分野	授業科目	成人看護概論
講師名	藪下めぐみ 山口美千代	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次 前期～後期
<p>目的: 1. 成人期にある対象を総合的に理解し、成人各期の健康問題の特徴と看護の役割を学ぶ</p> <p>2. 成人保健の意義を理解し、成人各期の健康の保持・増進について学ぶ</p> <p>目標: 1) 成人期にある対象を総合的に理解できる</p> <p>2) 成人各期の健康問題の特徴が理解できる</p> <p>3) 成人各期にある対象への看護の役割が理解できる</p> <p>4) 成人保健の保持・増進が理解できる</p> <p>5) 成人期の治療過程にある対象への看護が理解できる</p>			
回	時間	講義内容	
1 2	4	成人と生活	<ul style="list-style-type: none"> ・対象の理解 ・対象の生活
3	2	生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・成人を取り巻く環境と生活からみた健康 ・生活と健康をまもりはぐくむシステム
4 5	4	成人への看護アプローチの基本	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のなかで健康行動を生み、はぐくむ援助 ・健康問題を持つ大人と看護師の人間関係 ・人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ ・チームアプローチ ・看護におけるマネジメント ・看護実践における倫理的判断 ・意思決定支援
6	2	ヘルスプロモーションと看護	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスプロモーションと看護 ・ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動
7	2	健康をおびやかす要因と看護	<ul style="list-style-type: none"> ・健康バランスの構成要素 ・健康バランスに影響を及ぼす要因 ・生活行動がもたらす健康問題とその予防
8	2	健康生活の急激な破綻から回復を促す看護	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の急激な破綻 ・急性期にある人の看護 ・救急医療を必要とする人々
9	2	慢性病との共存を支える看護	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性病患者の理解 ・慢性病との共存を支える看護実践

		障害がある人の生活とリハビリテーション 学習者である患者への看護技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある人の生活とリハビリテーション ・ 障害がある人とその生活を支援する看護 ・ エンパワーメントエデュケーション ・ セルフマネージメントを推進する看護技術
10	2	人生の最後のときを支える看護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人生最後のときにおける医療の現状 ・ 人生最後のときを過ごしている人の理解 ・ 人生最後の時を支える看護
11	2	治療過程にある患者への看護技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治療による身体侵襲からの回復促進のための看護技術 ・ 安全を援助する看護技術 ・ 日常生活機能の保護・医師と社会復帰に向けた看護技術 ・ ボディイメージの変化に対する看護技術 ・ その人らしい日常生活再構築のための看護技術
12	2	症状マネジメントにおける看護技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 症状マネジメントと看護 ・ 症状マネジメントと看護実践モデル ・ 症状マネジメントモデルから導かれた看護アプローチ
13	2	療養の場を移行する人々への看護技術 新たな治療法、先進医療と看護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 療養の場の移行支援とはどのような活動か ・ 療養の場の移行支援が必要とされる理由 ・ 療養の場の移行支援の具体的方法 ・ 新たな治療法・医療処置の開発・普及 ・ 新たな治療法・医療処置を受ける患者・家族の看護
14 山口	2	がん看護	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん看護の役割（認定看護師） 緩和ケア チームアプローチ
15	2	単位認定試験	
講義方法		講義、グループワーク	
評価方法		単位認定試験 筆記試験＋課題 100点	
テキスト		医学書院：成人看護学1 成人看護学総論	
備考		リフレクションあり	